


抗癌剤プロトコール届け票

申請者	所属科: 外科	医師名 渡辺 康則	印 
抗癌剤プロトコール内容			
略名	CPT-11+ベクティビックス		
適応臓器名	KRAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌		
薬剤名	パニツムマブ(遺伝子組換え)製剤(商品名:ベクティビックス®点滴静注100mg) 塩酸イリノテカン注(CPT-11)(商品名:カンプト注)		
注意点	各薬剤の注意点を遵守すること		
用法・用量・投与スケジュール			
<p>ベクティビックスは2週間に1度で、CPT-11はA法またはB法で投与する。</p> <p>A法: 成人に1日1回100mg/m²を1週間間隔で3~4回点滴静注し、少なくとも2週間休薬する。 B法: 成人に1日1回150mg/m²を2週間間隔で2~3回点滴静注し、少なくとも3週間休薬する。</p> <p>先にベクティビックス (Infusion reaction 対策のプレメディケーションは原則不要であるが、必要に応じて、塩酸ジフェンヒドรามミン50mg経口投与+生食100ml、デカドロン8mg(30分) 1)生食100ml、ベクティビックス6mg/kg(体重)</p> <p>その後、CPT-11</p> <p>2)前投薬: 5-HT3受容体拮抗型制吐剤</p> <p>3)CPT-11</p>			
Evidence	2012年度版NCCNガイドライン 2011年度版大腸癌治療ガイドライン 海外第Ⅲ相試験(181)		
備考	KRAS遺伝子野生型に限り使用すること		
がん化学療法委員会承認日: 24.2.20			